

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月23日更新

事務事業名	電子自治体共同化事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	大茂 竜二
	施策	25	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	篤永 晋
	施策の柱	86	情報化の推進			所属班	情報企画班	(内線)	1262
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 16	事業連番 11073	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県・市町村共同で電子自治体を構築するために、県及び県内市町村による「熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会」を平成15年10月に設置し事業に取り組んでいる。平成17年3月にくまもと電子申請窓口「よろず申請本舗」の運用を開始した。平成23年4月から民間ASPサービスを活用した新システムの運用が開始された。他に「汎用型GIS(くまもとGPMaP)」等の事業も取り組んでいる。
【業務の流れ】	①電子自治体共同運営協議会の各種会議への参加。 ②電子申請の説明会への参加。 ③負担金支払い事務。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特に聞いていない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	・熊本県電子申請受付システム(よろず申請本舗)の運用及び利用促進 ・くまもとGPMaP(汎用型GIS)の運用及び利用促進	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・熊本県電子申請受付システムの運用及び利用促進 ・くまもとGPMaP(汎用型GIS)の運用及び利用促進 ・次期熊本県電子申請受付システム(平成29年度~)の検討
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件 →可能な電子申請手続き数	予算の主な増減の理由 人口割負担金額の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 →市民
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	いつでもどこからでもパソコンによって、各種申請等を行うことができる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)件 →電子申請の申請者数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 各種申請の利用状況が把握できる。利用件数が増加することが望ましい。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
①	活動指標	件	12	12	12	12	12	12	12	12
②	対象指標	人	58,237	59,067	59,500	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000
③	成果指標	件	374	355	270	305	280	290	290	290
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	341	428	493	445	498	500	500	500
	(A)事業費計	千円	341	428	493	445	498	500	500	500
	(A)のうち指定経費	千円	341	428	493	445	498	500	500	500
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	5	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	350	130	200	130	200	200	200	200
	(B)人件費計	千円	1,394	517	796	482	796	796	796	796
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,735	945	1,289	927	1,294	1,296	1,296	1,296

事務事業名	電子自治体共同化事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 全ての申請について利用促進を行うのは、手数料や提出書類などの問題があり難しいが利用が見込める申請については積極的に利用促進を行う。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 電子申請の住民への周知。また、担当職員への周知も更に必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会 (事務局：県) へ負担金として支払っているため、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 担当職員が出席する電子申請に伴う研修会参加や広報での周知が必要であり、削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 電子自治体共同化は熊本県下の市町村での取り組みであるため適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 熊本県下の自治体が参加して事業を行っており、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

有効性については、県で行われる説明会や会議に出席し、電子申請に取り組んでいるが、実際の電子申請は、特定の申請に限られている。今後の運用について、共同運営研究部会及び運営委員会、総会で議論する必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						